

2026 年 6 月 9 日

報道関係者各位

株式会社 FRONTEO

FRONTEO AI Innovation Forum 2026 開催 製薬企業 5 社が「AI 創薬」の実装成果を発表 ノンフィクション作家・下山 進氏が基調講演

株式会社FRONTEO（本社：東京都港区、代表取締役社長：守本 正宏、以下「FRONTEO」）は、2026年7月23日（木）、日本橋ライフサイエンスハブ（東京都中央区）にて「FRONTEO AI Innovation Forum 2026」を開催します。エヌビー健康研究所、参天製薬、富士製薬工業、丸石製薬、Meiji Seika ファルマ（五十音順）の5社が登壇し、FRONTEOのAI創薬支援サービス「Drug Discovery AI Factory（以下「DDAIF」）」を活用した創薬研究の実践成果を報告します。

基調講演には、『アルツハイマー征服』『がん征服』『命を選ぶ 遺伝病の運命に抗ったある女性の物語』などの著作で知られるノンフィクション作家の下山 進氏を迎えます。



FRONTEO AI Innovation Forumは、2019年の初開催以来8回目を迎えるFRONTEO主催のカンファレンスです。前回（2025年）は製薬企業を中心に500人超が参加し、製薬企業の経営者や研究者、新規事業開発部門担当者がFRONTEOとAIを活用して創薬に取り組んだ実践事例を共有

する場として定着しています。

今年のテーマは「Drug Discovery AI Factory実装最前線——プロジェクトから業務提携・共同創薬へと広がる共創の形」です。個別プロジェクトでの導入にとどまらず、戦略的業務提携へと発展するケースが生まれるなど、FRONTEOのAI創薬支援サービス「Drug Discovery AI Factory」の活用が研究現場から経営判断の領域へと広がりつつある最新動向を、導入企業自らが語ります。

また、会場ではFRONTEOの最新AIソリューションのデモンストレーションを行うほか、セミナー終了後には登壇者を交えた懇親会を開催し、製薬企業・研究機関間のネットワーキングの場を提供します。

【FRONTEO AI Innovation Forum ライフサイエンス AI 開催概要】

開催日	2026 年 7 月 23 日（木）セミナー/15:00-18:00、懇親会/18:00-19:30
会場	日本橋ライフサイエンスハブ（東京都中央区）
開催形式	会場・オンライン同時開催
定員	300 人（会場：約 50 人、オンライン：約 250 人）
公式ウェブサイト	https://ai-forum.fronteo.com/
参加申し込み	公式ウェブサイトより事前登録

【プログラム】

* プログラムは変更される可能性があります。最新情報は公式ウェブサイトにて随時公開いたします。

講演・セッション	所属	役職	講演者
オープニングセッション	株式会社 FRONTEO	代表取締役社長／CEO	守本 正宏
基調講演 セレンディピティか必然か？		ノンフィクション作家	下山 進 氏
セッション 1 FRONTEO との共創による眼科疾患に対する標的探索のアプローチ	参天製薬株式会社	眼科イノベーションセンター ディスカバリーリサーチ リサーチサイエンティスト	谷口 孝純 氏
セッション 2 創薬シーズ評価における DDAIF 活用 女性医療創薬シーズ評価への挑戦	富士製薬工業株式会社	研究開発本部 ドラッグ ディスカバリーグループ プロジェクトマネジメント課 課長	清水 隆弘 氏
セッション 3 Meiji Seika ファルマが取り組む新たなドラッグリポジショニングのアプローチ	Meiji Seika ファルマ株式会社	研究開発本部 研究開発戦略部 スペシャリスト	辻井 惇也 氏

セッション 4 KIBIT による GPCR 抗体創薬の効率化	株式会社エヌビー健康研究所	代表取締役	高山 喜好 氏
セッション 5 創薬研究開発を加速する FRONTEO との戦略的業務提携とその展望	丸石製薬株式会社	代表取締役社長執行役員	井上 勝人 氏
クロージングセッション	株式会社 FRONTEO	取締役／CSO (Chief Science Officer)	豊柴 博義

FRONTEOは、DDAIFの提供ならびに製薬企業・バイオベンチャーとの協業を通じて、革新的医薬品の研究開発を支援し、アンメット・メディカル・ニーズ解消と日本の創薬力強化に貢献し、『日本を再び創薬の地に』の理念の実現に努めてまいります。

なお、8月6日（木）には経済安全保障やコンプライアンス支援、リーガルテック領域における「リスクマネジメント」をテーマに別途開催を予定しています。詳細は公式ウェブサイトにて順次ご案内いたします。

■FRONTEO Drug Discovery AI Factory (DDAIF) について

【ご参考：製薬企業およびアカデミアとの取り組み】 URL : <https://www.fronteo.com/news/ddaif-list>



「FRONTEO Drug Discovery AI Factory (DDAIF)」は、自然言語処理に特化した方程式駆動型 AI「KIBIT (キビット)」* (日本・欧州・米国・韓国特許取得済**) と、FRONTEO の創薬研究者および AI エンジニアの知見を融合した AI 創薬支援サービスです。疾患関連遺伝子ネットワークの解析や、標的分子候補に関する仮説の構築を通じ、医薬品開発における研究者の意思決定を強力にサポートします。本サービスはすでに複数の大手製薬企業で導入され実績を重ねています。

***方程式駆動型 AI「KIBIT」** は FRONTEO が独自開発した人工知能。方程式を用いることで非連続な発見、因果関係の把握、高い再現性を実現。学習プロセスの軽量化により CPU レベルで高速・高精度の解析を可能とします。

****Drug Discovery AI Factory に使われている技術**は、FRONTEO が日本および欧州、米国、韓国で計 21 件の特許権を取得しています。

URL : <https://lifescience.fronteo.com/products/drug-discovery-ai-factory/>

■株式会社 FRONTEO について URL : <https://www.fronteo.com/>

FRONTEO は、自社開発の方程式駆動型 AI「KIBIT (キビット)」の提供を通じて、日夜、社会課題と向き合う各分野の専門家の判断を支援し、イノベーションの起点を創造しています。当社独自の自然言語処理技術（日本・欧州・米国・韓国特許取得済）は、汎用型 AI とは異なり、教師データの量およびコンピューティングパワーに依存することなく、高速かつ高精度での解析を可能にします。加えて、解析した情報をマップ化（構造を可視化）する特許技術を活用することで、「KIBIT」が専門家のインサイトにダイレクトに働きかけることができ、近年、「KIBIT」の技術が創薬の仮説生成や標的分子探索にも生かされています。



「KIBIT」の独自技術およびアプローチを通じて、「集合知に埋もれたリスクとチャンスを見逃さないソリューションを提供し、情報社会のフェアネスを実現する」理念の実現に向けて、[ライフサイエンス AI](#)、リスクマネジメント（[経済安全保障分野](#)、[ビジネスインテリジェンス・コンプライアンス支援分野](#)、[ビジネスインテリジェンス・プロフェッショナル支援分野](#)、[リーガルテック AI 分野](#)）、DX（[株式会社アルネッツ](#)）の各事業で社会実装を推進しています。

2003 年 8 月創業、2007 年 6 月 26 日東証マザーズ（現：東証グロース）上場。日本、米国、韓国で事業を展開。資本金 915,057 千円（2026 年 3 月 31 日時点）。

※FRONTEO、KIBIT、Drug Discovery AI FactoryはFRONTEOの日本および欧州、米国、韓国における商標または登録商標です。

<報道関係者のお問い合わせ先>

株式会社 FRONTEO 広報担当

Email : pr_contact@fronteo.com 電話 : 080-4321-6692

<ライフサイエンス AI 事業に関するお問い合わせ先>

株式会社 FRONTEO ライフサイエンス AI 事業本部

<https://www.fronteo.com/ja/contact/business>